

令和2年6月25日

保護者の皆様
学生の皆様

学長 中村 幸弘

春セメスター授業の進行について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対応して、第55期入学者入学式(4/4)・新2年生成績表交付(4/6)等に限定して行い、4週間の臨時休校(4/8~5/6)としました。春セメスター授業は、感染症対策を講じながら、15回の受講を可能にする日程を組み特別対応で開始をしました。この間の事情については、学生並びに保護者の皆様にもご理解していただけることと存じます。

授業は、5月7日(木)から開始しましたが、なお4週間(5/7~6/3)は登校停止期間として、全科目遠隔授業(課題研究を含む)で行いました。5月25日(月)の緊急事態宣言の解除を受け、本学を取り巻く状況を充分に見極め、安全対策に最大限努めながら、第5週目の6月4日(木)から、校舎での対面授業と遠隔授業を併用しての授業に取り組みました。6月24日(水)、校舎での対面授業の開始から3週間が経過しました。

対面授業については、安全対策を取りながらと言っても、学生(保護者)は不安を抱きながらの通学であったと思います。個々人熟慮のうえで、対面授業受講とした学生の皆さん、自宅学習継続とした学生の皆さん、いずれも、それぞれに適切な判断だったと思います。どちらを学びの場としても、学生はしっかり学修していると担当教職員から報告を受けております。

大学は、この3週間の大学における状況を限りなく把握し、今後の8週間(8回)の授業の在り方について協議しました。3週間が、教職員と学生との協力の努力により安全に進行していることを踏まえて、さらに4週目(6/25~7/1)・5週目(7/2~7/8)を注視すること、6週目(7/9)以降、遠隔授業から対面授業への移行を計画している教員が見られること、現在は周辺地域が安定していること、などを考慮して、徐々に対面授業中心の授業展開を推進してまいりたいと判断するに至りました。

但し、状況の変化には、機敏に対応してまいります。

今回は、春セメスターの中間時点に当たり、学生並びに保護者の皆様へ、大学としての授業進行指針をお伝えいたしますのでご理解ください。